

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3041538号

(45) 発行日 平成9年(1997)9月22日

(24) 登録日 平成9年(1997)7月2日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 B	13/02		B 6 5 B 13/02	
G 0 9 F	3/00		G 0 9 F 3/00	Q
	3/10		3/10	B

評価書の請求 有 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願平9-2377

(22) 出願日 平成9年(1997)3月17日

(73) 実用新案権者 596150297

イダリホームズ、株式会社

名古屋市東区泉1丁目3番32号

(72) 考案者 新山 和登

名古屋市東区泉1丁目3番32号 イダリホ

ームズ、株式会社内

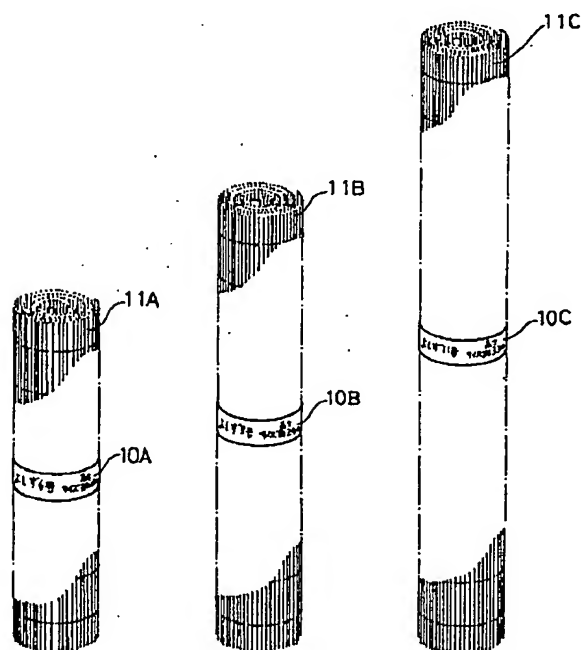
(74) 代理人 弁理士 三宅 始

(54) 【考案の名称】 よしず類の梱包用粘着テープ

(57) 【要約】

【課題】 よしず類11A~11Cのサイズの種類の見分けが容易な梱包用粘着テープ10A~10Cを提供すること。

【解決手段】 よしず類の巻物を梱包する粘着テープ10A~10Cの色をよしず類11A~11Cのサイズの種類毎に区別し、テープ10A~10Cによしず類11A~11Cのサイズの種類を号数で表示するとともによしず類11A~11Cのサイズを表示し、テープ10A~10Cをみればそのサイズの種類が一目で識別できるようにする。



BEST AVAILABLE COPY

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 よしず類の巻物を梱包する粘着テープであって、テープ本体の色をよしず類のサイズの種類毎に区別したことを特徴とするよしず類の梱包用粘着テープ。

【請求項2】 前記テープ本体によしず類のサイズの種類を号数で表示したことを特徴とする請求項1に記載のよしず類の梱包用粘着テープ。

【請求項3】 前記テープ本体によしず類のサイズを表示したことを特徴とする請求項1又は2に記載のよしず*10

2

* 類の梱包用粘着テープ。

【図面の簡単な説明】

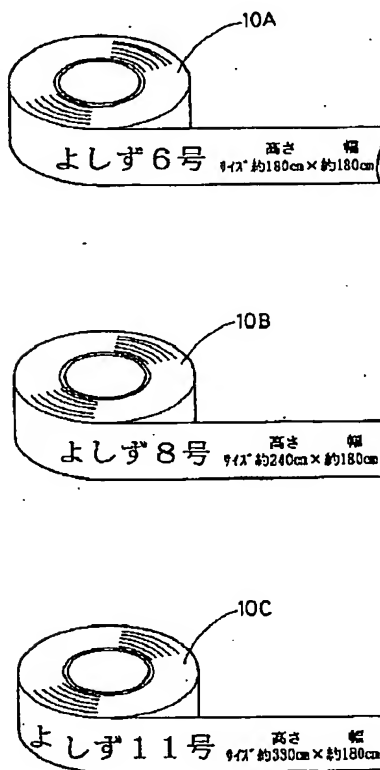
【図1】 本考案の一実施形態に係るよしずの梱包用粘着テープを示す斜視図である。

【図2】 同粘着テープを使用して梱包したよしずを示す斜視図である。

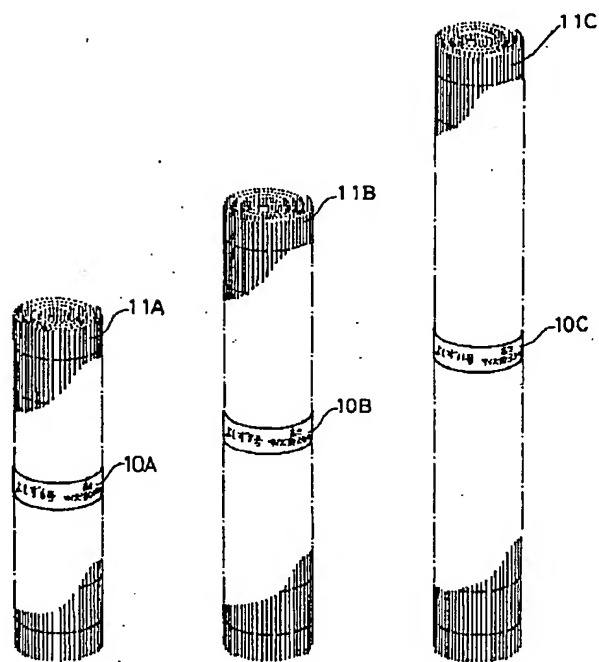
【符号の説明】

10A、10B、10C…よしずの梱包用粘着テープ、
11A～11C…よしず。

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案はよしずや簾等のよしず類の巻物を梱包する粘着テープに関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に、よしず類の巻物は紐や粘着テープを使って梱包している。

ところで、よしずの場合、例えば幅は180cmと一定であっても、高さが180cmであったり、210cmや240cmあるいは330cmであったりと、サイズの種類の異なるものが市場に供されている。

従来、このようなよしずのサイズはそれを表記したラベルを巻物に貼着したり、紐で吊り下げて消費者や業者の便を図っている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、このようにサイズの種類が異なるよしずを一枚ずつ巻いた状態で店頭に陳列する場合、あるいは消費者が陳列されたよしずのサイズの種類を選ぶ場合、近寄ってラベルの内容を確認しなければ、サイズの種類の見分けが困難であるため甚だ不便であった。

本考案はかかる点に鑑み、よしず類のサイズの種類の見分けが容易な梱包用粘着テープを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の考案はよしず類の巻物を梱包する粘着テープであって、テープ本体の色をよしず類のサイズの種類毎に区別したことを特徴とする。

請求項2に記載の考案は請求項1に記載の梱包用粘着テープにおいて、前記テープ本体によしず類のサイズの種類を号数で表示したことを特徴とする。

請求項3に記載の考案は請求項1又は2に記載の梱包用粘着テープにおいて、前記テープ本体によしず類のサイズを表示したことを特徴とする。

【0005】

【考案の作用・効果】

請求項1に記載の考案によれば、よしず類の巻物を梱包する粘着テープの色によってよしず類のサイズの種類を見分けることができるので、多種類のよしず類を業者が店頭に陳列する作業の効率が向上するだけでなく、消費者が店頭でよしず類のサイズを選ぶのも容易になる。

請求項2に記載の考案によれば、テープの色に加えてテープの号数表示でよしず類のサイズの種類を見分けることができ、いっそう便利である。

請求項3に記載の考案によれば、テープの色と号数表示でよしず類のサイズを見分けることができるうえに、サイズも確認できるので、よりいっそう便利である。

【0006】**【考案の実施の形態】**

以下に本考案を図面に基づき説明するに、図1には本考案の一実施形態に係る3種類のよしず梱包用の粘着テープ10A～10Cが示されている。各梱包用粘着テープ10A～10Cは種類毎に異なる色のテープ本体が使われており、例えば梱包用粘着テープ10Aは赤色、梱包用粘着テープ10Bは金色、梱包用粘着テープ10Cは黄色を有している。

また、各梱包用粘着テープ10A～10Cにはよしずのサイズの種類を示す号数及びよしずのサイズが印刷表示されている。例えば梱包用粘着テープ10Aには「よしず6号」の号数表示と「高さ180cm×幅180cm」のサイズが印刷表示されている。同様に、梱包用粘着テープ10Bには「よしず8号」と「高さ240cm×幅180cm」の表示が、また梱包用粘着テープ10Cには「よしず11号」と「高さ330cm×幅180cm」の表示が印刷されている。

本実施形態に係る粘着テープ10A～10Cではよしずのサイズの種類を表示する号数は1号30cmとして設定されている。

【0007】

本実施形態に係るよしずの梱包用粘着テープ10A～10Cの構造は以上の通りであって、図2に示すように、よしず11A～11Cの巻物にそのサイズの種類に対応する色を備えた粘着テープ10A～10Cを巻回して巻物が解けないよ

うに梱包して使用する。あるいは図示しないが、よしず11A～11Cの巻物をシートでつつみ、シートの上から粘着テープ10A～10Cを巻き付けて梱包してもよい。

このように本実施形態に係るよしずの梱包用粘着テープ10A～10Cを使用すれば、粘着テープの色によってよしずのサイズの種類を一目で見分けることができるので、多種類のよしずを業者が店頭に陳列する作業の効率が向上するだけでなく、消費者が店頭でよしずのサイズを選ぶのも容易になる。

また、テープの色と号数表示でよしずのサイズを見分けることができるうえに、サイズも確認できるので、便利である。